

横浜に残る生糸文化の礎をみんなで守ろう。

旧三井物産横浜支店倉庫（明治43年竣工）は、横浜の「歴史を生かしたまちづくり」を推進する上で要となる歴史的建造物であるとともに、日本のシルク遺産として世界遺産になりうる建造物であります。このような世界遺産的価値を有する建造物の取り壊しは、横浜市民としては許すことができません。是非とも次の世代に横浜の宝として守っていくことを決意し、広くアピールします。

平成26年8月5日

旧三井物産株式会社横浜支店倉庫の保存を考える緊急シンポジウム 参加者120名 一同

西 和夫（神奈川大学名誉教授・公益社団法人 横浜歴史資産調査会 相談役）

吉田 鋼市（横浜国立大学名誉教授）

堀 勇良（建築史家）

水沼 淑子（関東学院大学教授）

鈴木 伸治（横浜市立大学教授）

大野 敏（横浜国立大学大学院准教授）

米山 淳一（公益社団法人 横浜歴史資産調査会 常務理事・事務局長）

旧三井物産株式会社横浜支店倉庫の保存を考える緊急シンポジウム事務局

公益社団法人 横浜歴史資産調査会